

第10回 Tokyo AYA Can ネットワーク AYA世代の在宅緩和医療を考える ～AYA世代緩和ケア連携の現在地と未来～

AYA世代がん患者の在宅療養を支えるためには、医療機関だけでなく、在宅医療、行政、相談支援機関、地域の多職種が連携することが重要です。本研修会では、AYA世代への在宅緩和医療の実践、緩和ケア連携の課題と展望、行政による支援制度について学びながら、地域で患者と家族を支えるために必要な連携について考えます。是非ご参加ください。

2026.9.5 (土) 13:00-15:00 (開場 12:30)

対面開催 定員：100名

対 象：AYA世代がんに関わる医療従事者等 在宅・地域医療関係者

**会 場：大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター 3階 3301
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目6-2**

**主 催：東京都立小児総合医療センター・聖路加国際病院
東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会**



**要申込み
参加無料**

12:30	受付
13:00～13:05	はじめのあいさつ
13:05～13:45	特別講演1 「AYA世代がんへの在宅緩和医療 –在宅医の視点から–」 医療法人社団淳友会 わたクリニック 渡邊 拓史
13:45～14:15	特別講演2 「AYA世代がん患者の緩和ケア連携の課題と未来」 国際医療福祉大学成田病院 看護部長 關本 翌子
14:15～14:20	情報提供 「若年がん患者在宅療養支援事業について」 東京都保健医療局 医療政策部 医療政策課 井上 直樹
14:20～14:30	休憩
14:30～14:55	パネルディスカッション 「AYA世代緩和ケア連携の現在地と未来」 パネリスト 演者の先生方と一緒に考えます
14:55～15:00	おわりのあいさつ
15:15～16:00	ネットワーキング

※研修会終了後、会場でネットワーキング（テーマ毎の意見交換会）を45分程度実施いたします。
任意参加ですが、是非ご参加ください。（認定がん専門相談員の単位取得を希望される方は、
開始からネットワーキング終了までの参加が必須となります。）

参加申し込み方法

申込期限：2026.9.3（木曜日）

申し込みフォームはこちら⇒

<https://forms.gle/mciFWoGhTSSqHWxw6>



開始からネットワーキング終了まで
参加された方は、
国立がん研究センター
認定がん専門相談員の
「研修・学会等への参加実績」
1単位の取得が可能です。



お問い合わせ： 聖路加国際病院 AYAサバイバーシップセンター 担当：橋本
TEL 03-5550-7098 E-MAIL： aya@luke.ac.jp